

自立について
20260912

独立⇔自立⇔依存
自由⇔孤独⇔絆、愛

子どもにとって、
大人にとって、老
人にとって

精神的、経済的・
物質的、身体的に
自立する

自立⇒自分で立つ⇒
自活とは違う

ほめられる、評価
されるからではな
く、自分の判断で
行為する

他人のせいではな
く自分の「足」で
立つ⇒精神的に

自分で決められる
こと⇒それで人生は
うまくいく

自分の思っている
こと考えているこ
と⇒自分の言葉で言
えること

行動につながる

経済的繋がり⇒感謝
する⇒人間の関係

価値判断⇒自分が納
得する

自分の判断だと
思っている⇒本当に
自分の判断か？

他人の力を借りて
生きている

自立⇒中立⇒他人の
言葉を借りること

言葉の質⇒自立の質

「自立」はある
か？

お互いに共存する

他人との関係、ま
わりで共存共栄

自分の思い、気持
ちを言葉にきざむ

自立とは社会の中
での個人のあり方

自然に生かされて
いる「いのち」で
もある

反対語の「依存」⇒
他人を頼る、従う

他人を切り離して
生きていけない

他人がいて自分が
成り立っている

自立⇒できることと
できないことの助
け合い

老いたらできなく
なることが多くな
る

老人介護⇒介護され
ている人に自立は
あるか

生まれたばかりの
子どもは親に依存
しないと生きられ
ない

助けてもらうこと
によって自立でき
る

助けてもらって感謝
する⇒自立

子どもが自立する
とはどういうこと
か

自分の行動に責任
をとれる

自分を知る

自分を客観的に見
れる

自立できるまでに
時間が必要

見守る、承認が必要

自立と依存は対立
ではない。必要な
依存が自立を助ける

愛⇒依存が必要⇒互
いに思いやる

十分な依存の裏打
ちがあって自立で
きる

